

スペクトラムデジタル社 XDS510USB TI 社 Code Composer Studio Code Composer Studio 用ドライバ インストールガイド

第 10b 版 2013.7



株式会社 ロイノス DSP 開発ツール

Tel 053-762-3681 Fax 053-762-3682

URL : www.roinos.com Email : tool@roinos.com

複製禁止



目次

1. まえがき	1	6.3 ロイノス編集のドライバ	6
2. システム要件	1	7. XDS510USB の認識	7
3. 取り扱い上の注意事項と保証期間	1	8. CCS セットアップに関する役立つ知識	7
4. 梱包内容	2	8.1 SD Config の設定	7
5. Code Composer Studio のインストール	2	8.2 GEL の利用 (CCS Ver3.x 対応のため) ..	8
5.1 CCS Ver4 または Ver 5 の場合	2	8.3 DSK 用のパッチ	8
5.2 CCS Ver4 アップデートソフトの入手	4	8.4 マルチコアプロセッサについて	8
5.3 CCS Ver3.3 の場合	5	9. Setup CCS	9
6. セットアッププログラムの実行	6	9.1 CCS Setup CCS Ver3.3 の場合	9
6.1 概要	6	9.2 CCS Setup を import で行う (CCS Ver3.x)	10
6.2 スペクトラムデジタル ドライバ	6		

10. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.3 の例)	11
10.1 DSK C6713 の場合	11
10.2 DSK C6416 の場合	11
10.3 EVM DM642 の場合	11
10.4 EVM 6201 / 6701 の場合	12
10.5 DSK C5416 の場合	12
10.6 DSK C5510 の場合	12
10.7 eZdspF28335 の場合	12
10.8 eZdspF2812 の場合	13
10.9 eZdspLF2407 の場合	13
10.10 eZdspF2808 の場合	13
10.11 OMAP5912 OSK の場合	13
10.12 EVM DM6446 の場合	14
10.13 DSK6455 の場合	14
10.14 EVM6437 の場合	14
10.15 C672x の場合(EVM 6727 の例)	15
10.16 EVM DM355 の場合	15
10.17 EVM OMAP 3530 の場合	15
11. 汎用的ボードの具体的設定(CCS3.1 の例)	16
11.1 DSK C6713 の場合	16
11.2 DSK C6416 の場合	16
11.3 EVM DM642 の場合	16
11.4 EVM 6201 / 6701 の場合	16
11.5 DSK C5416 の場合	16
11.6 DSK C5510 の場合	16
11.7 eZdspF2812 の場合	16
11.8 eZdspLF2407 の場合	16
11.9 eZdspF2808 の場合	16
11.10 OMAP5912 OSK の場合	16
11.11 C672x の場合(EVM 6727 の例)	16
12. CCS Ver4 または Ver 5 の使用方法	17
12.1 CCS のインストール	17
12.2 デバイスドライバについて	17
12.3 XDS510USB の認識	17
12.4 Target Configuration	17
12.5 接続について	19
13. 故障対応	20

1. まえがき

スペクトラムデジタル社エミュレーションシステムとテキサス・インスツルメンツ社 Code Composer Studio を組み合わせて使用することで実機のエミュレーションを行うことができます。

仕様

テキサス・インスツルメンツ社の TMS320 ファミリーをサポートしています。システムの特徴は次の通りです。

- ▲ C6000,C5000,C2000,ARM,OMAP,DaVinci のエミュレーション。
- ▲ USB 1.0, 1.1, USB2.0 ポートでの使用
- ▲ 3.3V と 5V のターゲット I/O 電圧に対応

本書では Code Composer Studio を CCS、テキサス・インスツルメンツ社を TI と称する場合があります。

2. システム要件

本書は、スペクトラムデジタル社のエミュレータ XDS510USB と TI の CCS、JTAG 接続の DSP ターゲットボードを使用する方を主な対象としています。ホストパソコンに必要な条件ものは次の通りです。

- ▲ Windows Vista / xp / 2000 / Me / 98
Me や 98 をサポートしていない CCS のバージョンもありますので CCS の仕様をご確認ください。
- ▲ USB 1.0, 1.1, USB2.0 ポート 1 個
- ▲ CCS Ver2.2 以降

3. 取り扱い上の注意事項と保証期間

製品は、実用性を踏まえつつ、設計されておりますが、機構上長期間に渡る機械的負荷で損傷を受ける個所がございます。製品を長期にわたって安心してお使いいただけますよう、製品には**機械的衝撃を与えない、ケーブル部に機械的応力(張力、荷重、ねじれ力)をかけないように**お願いします。**JTAG ケーブルで POD 本体をぶら下げて使用すると JTAG ケーブルの痛みが非常に早くなりますのでおやめ下さい。**

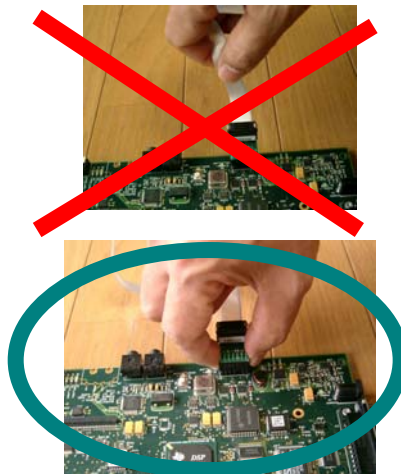
ターゲットの電源とホスト PC の電源はできるだけ近くからとり、フレームグラウンドの電位差が発生しないようにして下さい。電位差がある状態で JTAG の端子を挿抜しますと、機器が破壊されるおそれがあります。また、大電流を扱う機器、力率の悪い機器と AC を共用する環境では、フレームグラウンドの電位差による**循環電流を流さないように**ホストパソコンとターゲットボードのグラウンドは POD とは別に**導線で常時接続**することをお勧めします。

また、製品の保証期間は一年間で、その期間内に正常な使用状況において故障した場合には修理は無償です。その期間を過ぎた場合には実費の修理となります。もし敢えてサポート無しの条件で購入された場合には保証は付きません。

ロイノスでは 1 年を超えた後でも、有料にて年間サポートを承っております。詳しくは弊社の web あるいは営業までお問い合わせ下さい。

製品の構造上、JTAG コネクタの部分の接続が割と弱く、コネクタの挿抜の際にケーブルを引っ張るとコネクタ内部で接触不良が起き、CCS の動作が不安定となります。

かならず JTAG コネクタのシェルをつまんではずすようにして下さい。



(使用した写真のコネクタは XDS510USB ではございません)

4. 梱包内容

製品の箱の中に以下のものがあることをお確かめ下さい。

- (1) マニュアル 本書および英語のマニュアル
- (2) ドライバ CD



スペクトラムデジタル製

および

ロイノス編集 CD(SD エミュレータドライバ)



スペクトラムデジタル社のエミュレータ用のデバ
イスドライバなどが入っています。

- (3) エミュレータ本体と USB ケーブル



5. Code Composer Studio のインストール

CCS をインストールしていない場合はインストール
します。CCS をすでにインストールしている場合、本章は
読み飛ばしてください。

いずれのバージョンにおいても、TI の web にアクセス
し、ユーザー登録およびサービスコードを登録してアッ
プデートアドバイザ機能が利用できるようにしてくださ
い。アップデートアドバイザ機能によって、今後必要に
なるであろうアップグレードソフトを入手できるよう
になります。TI ではこれをサービスリリース(SR)と読んで
います。

注意 インストールは管理者権限でおこなって下さい。

注意 インストール時はウイルスチェックソフトの動作
を停止させるか、アンインストールしておいてください。
そのままにしておくとプロジェクトのビルドができなく
なる場合がありますので。

5.1 CCS Ver4 または Ver 5 の場合

DVD-ROM もしくはバージョンアップの権利を利用し
て入手したダウンロード済みファイルを実行してイン
ストールして下さい。(下記説明は Ver4 です。)

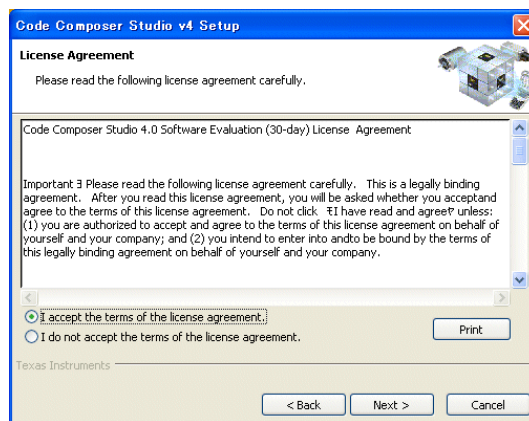
- (1) 例えばダウンロード版の場合は下記の実行ソフトを
開始して下さい。



- (2) Welcome ... の画面では **Next>** を押して下さい。



- (3) License agreement 画面では内容をご確認の上 I
accept... を選んでから **Next>** を押して下さい。



- (4) Choose Installation Location では CCS のインス
トールフォルダを決定の上 **Next>** を押して下さい。